Roboticsware

Automation シリーズ

ビューマニュアル

RWMN-5-21-940

ようこそ **3**
本マニュアルについて 3
1章　ビューの概要 **4**
ビューの位置付けと目的 4
各パッケージで利用可能なビューについて 5
各ビューの構成と追加操作 6
2章　ビューの機能解説 **9**
2－1　アウトプットビュー 9
解説 9
プロパティ 9
2－2　タグリスト 11
解説 11
プロパティ 11
2－3　タグモニタ 12
解説 12
プロパティ 12

ようこそ

本マニュアルについて

本書「ビューマニュアル」は、本パッケージを使用する上での基礎となるものです。
ユーザーズマニュアルと併せてお読みいただくことを推奨いたします。

1章　ビューの概要

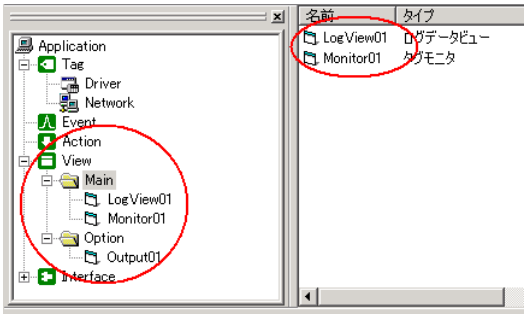
ビューの位置付けと目的

本パッケージは、タグ、イベント、アクション、ビュー、インターフェースの５つの大きな概念から成り立ちます。本マニュアルは「ビュー」について記述されています。

	タグ	PLC との通信の設定です。
	イベント	アクションを起動するトリガの設定です。
	アクション	ロガー、メールなどのアクションの設定です。
	ビュー	タグリスト、タグモニタなどのビュー（画面）の設定です。
	インターフェース	OPC/DDE/IPLink などの、外部アプリケーションから接続するためのインターフェースの設定です。



ビューの設定は、画面左側のツリーから行います（ビューアイコンに対して追加します）。





「ビュー」とは画面の事を意味しますが、FA-Panel における「ビュー」とは Panel Server 側で設定可能な「タグモニタ」などのサーバ画面の事を意味するものであり、Panel Browser で表示するクライアント画面とは別のものです。

各パッケージで利用可能なビューについて

FA シリーズでは以下のビューが用意されており、利用可能なビューはパッケージの種類によって異なります。各パッケージとアクションの対応は下表のとおりです。

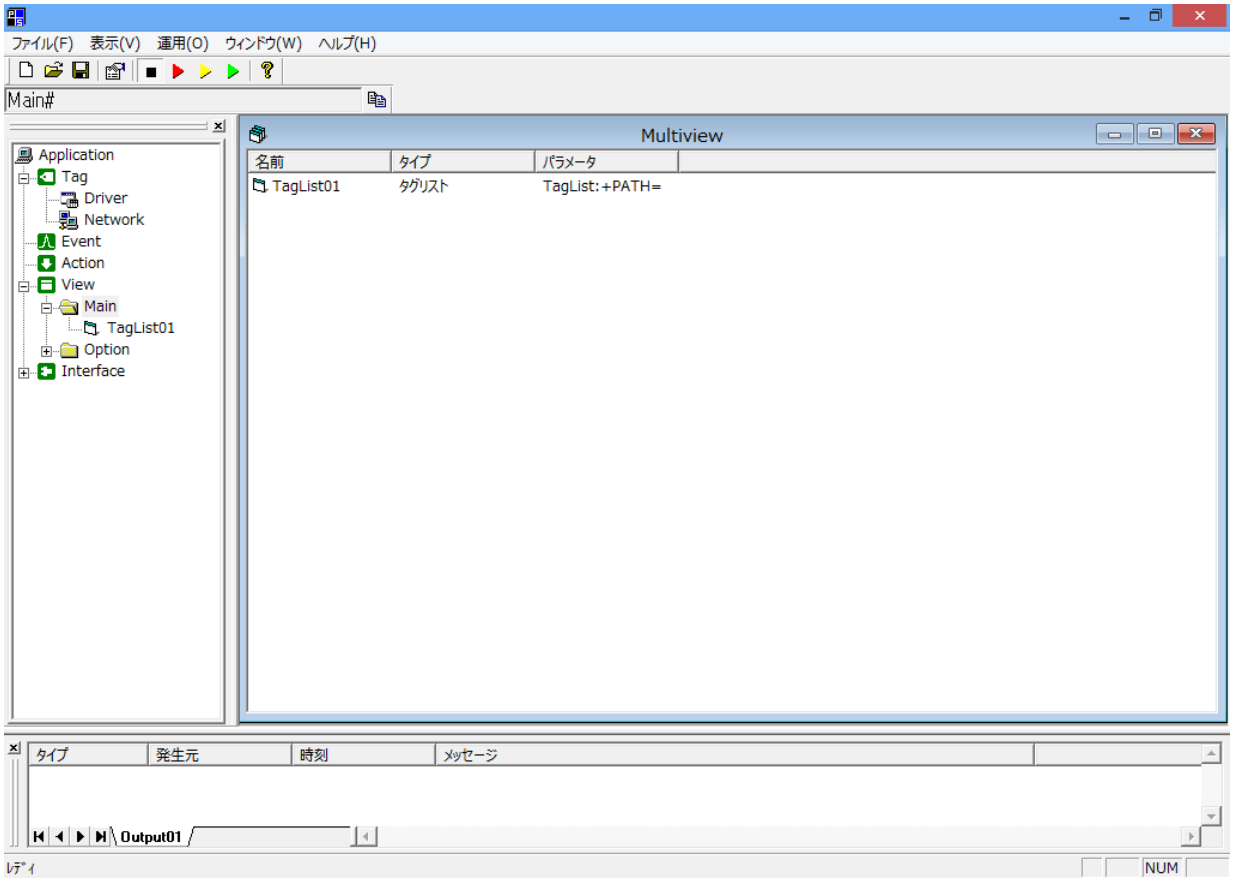
	FA-Panel	FA-Studio	FA-Engine (TagEditer)	FA-Driver	FA-Server	FA-Logger	FA-Report	FA-Trend
ビュー								
アウトプット	○	○	○	○	○	○	○	○
タグリスト	○	○	○	○	○	○	○	○
タグモニタ	○	○	○	○	○	○	○	○
レポートビュー	○						○	
ログデータグラフ	○							○



本マニュアルでは、「レポートビュー」及び「ログデータグラフビュー」に関する記述は含まれていません。これらの詳細については、以下のマニュアルの記述を参照してください。

・レポートビュー‥‥‥ FA-Report ユーザーズマニュアル
・ログデータグラフ‥‥‥ FA-Trend ユーザーズマニュアル

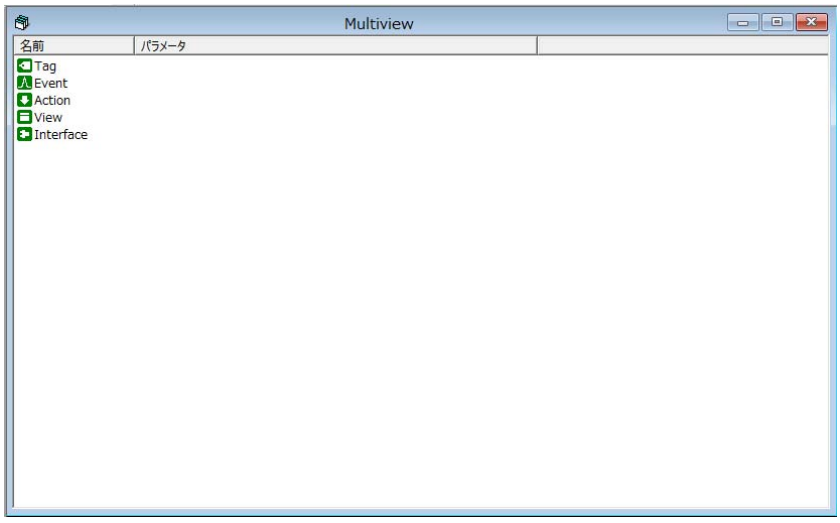
各ビューの構成と追加操作



画面に表示するビューの選択切り替えは画面左側のツリーから行います。

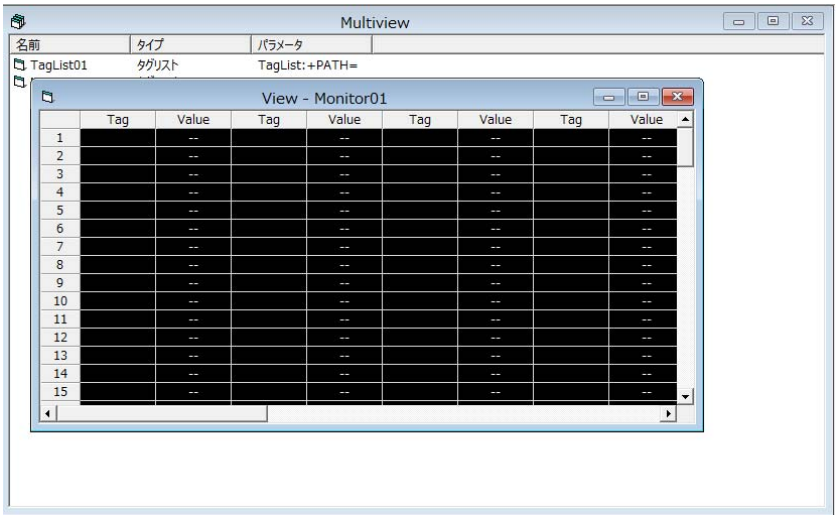
マルチビュー

画面左側のツリーからの選択に応じて、動的に表示内容が切り替わるリストビューです。このビューは画面右側のスペースにデフォルトで表示されます。尚、メニューから［表示］［マルチビュー］を選択することにより、表示・非表示を切り替えることができます。

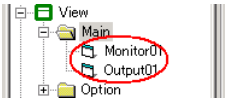


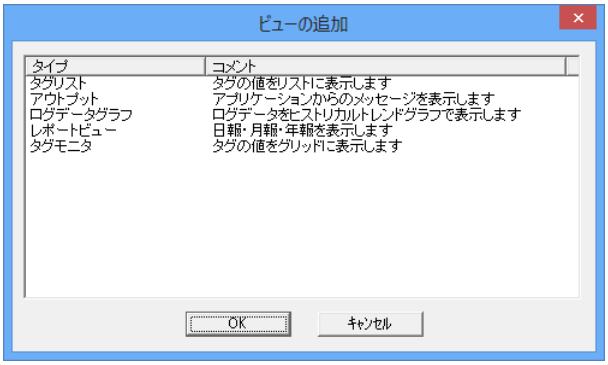
メインビュー

マルチビューとは別に、画面右側のスペースに表示することができるビューです。必要に応じて自由に追加することができます。「アウトプット」「タグリスト」「タグモニタ」などを表示することができます。



メインビューの追加を行うには、左ツリーの「View/Main」を右クリックしてビューの追加ダイアログを表示し、ダイアログから追加するビューを選択します。





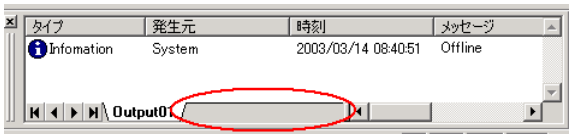
ダイアログから追加するビューを選択します。

フッタービュー

画面下部に表示されるビューです。デフォルトでアウトプットビューが表示されています。



フッタービューは必要に応じて自由に追加することができます。フッタービューを追加するには、画面左のツリーから「View/Option」を右クリックすると表示されるメニューからの追加、又はフッタービューの下記の部分を右クリックすると表示されるメニューから追加することができます。

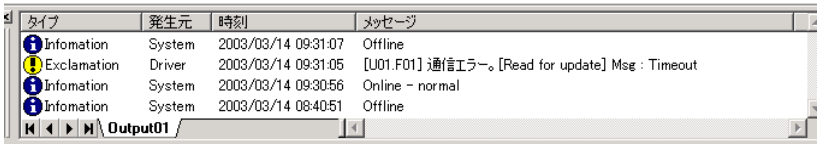


２章　ビューの機能解説

２－１　アウトプットビュー

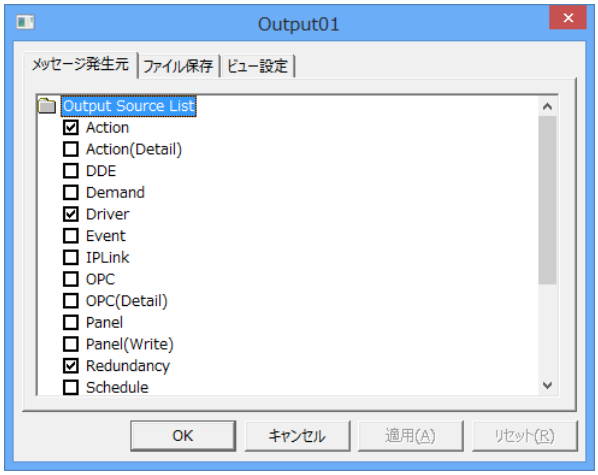
解説

アウトプットビューは、通信エラーなどのメッセージを表示します。

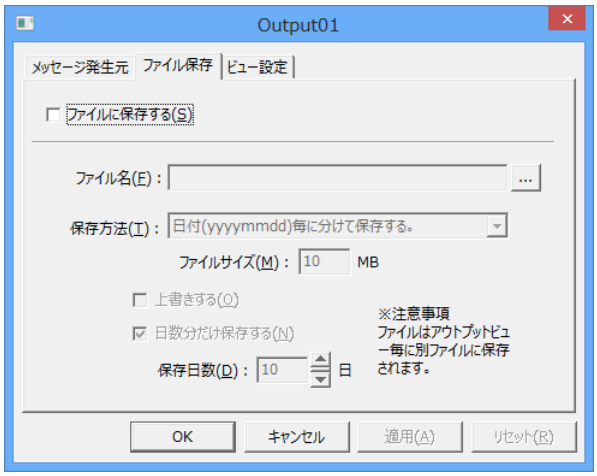


アウトプットビューは、メッセージの内容をテキストファイルへ保存することもできます。特にトラブル発生時のトラブルシューティングにおいて、メッセージをログファイルとして保存しておく事は非常に有効な手がかりとなります。

プロパティ



アウトプットビューでは、表示するメッセージの種類を選択することができます。この設定は、アウトプットビューのプロパティの「メッセージ発生元」タブから、ビューに表示するメッセージの種類を選択する事によって行います。例えば、複数のアウトプットビューを追加し、各ビューに別々のメッセージ発生元を選択分けする事で、メッセージの種類ごとにログを分けて取得することができます。



「ファイル保存」タブでは、メッセージのファイル保存に関する設定を行います。ファイル出力を有効にする際には、通常「ファイル名に日付をつける」を選択して、日ごとにファイルを分けるようにします。また、ファイルの保存を有効にする場合、ログファイルの保存日数を指定して一定期間より古いファイルが自動的に削除されるように設定することを推奨します。



ログファイルはアウトプットビュー毎に作成されます。従って、異なるメッセージ内容のアウトプットビューを複数設定することで、メッセージ内容を分けてファイルに保存することができます。



PLC との通信状況は、メッセージ発生元に「Tag」を含めることで知ることができます。さらに詳しいログを取得したい場合には「Tag(Detail)」を選択します。

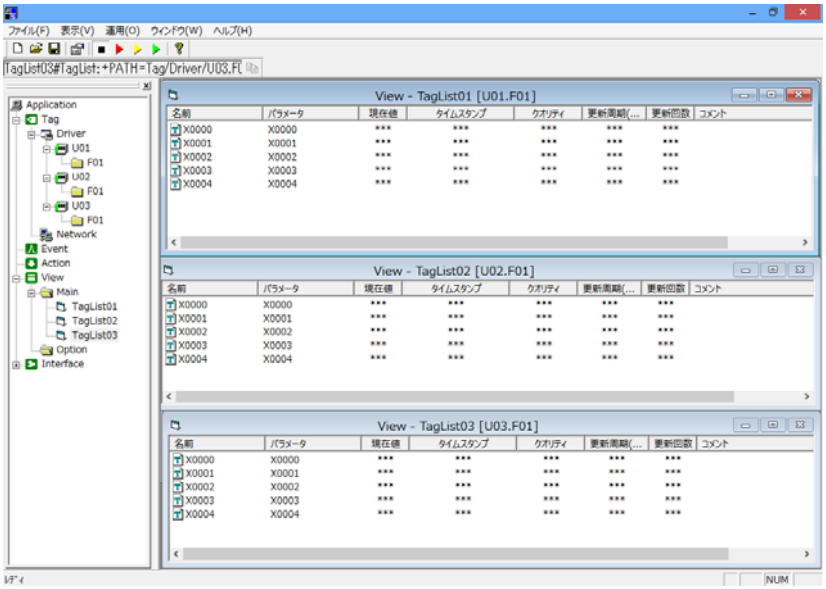


OPC 接続でトラブルが発生した場合のトラブルシューティングには、「OPC」及び「OPC(Detail)」のメッセージは非常に有効な情報源になります。「OPC」＋「OPC(Detail)」及び「Tag」＋「Tag(Detail)」でエラーの状況を取得するとさらに通信の状況を詳しく知ることができます。

2－2　タグリスト

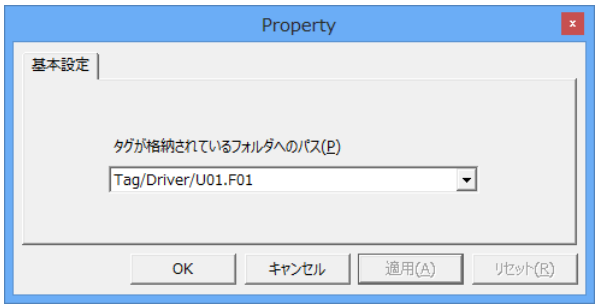
解説

タグリストはタグの状態を画面に表示させるときに利用します。値の編集も可能です。



タグリストの表示は、マルチビューのタグ一覧表示と同等の内容です（左側のツリーからタグのフォルダが選択された時の表示内容）。マルチビューは左側のツリーの選択を切り替えるとリストの内容が変わってしまうため、ツリーの選択状況に関係なくタグの情報を固定的にリスト表示させたい場合に使用します。また、複数の PLC との通信状況を一度にならべて閲覧したい場合など、上記イメージの様に複数のタグリストビューを同時に表示することで対応できます。

プロパティ



タグが格納されているフォルダを指定します。

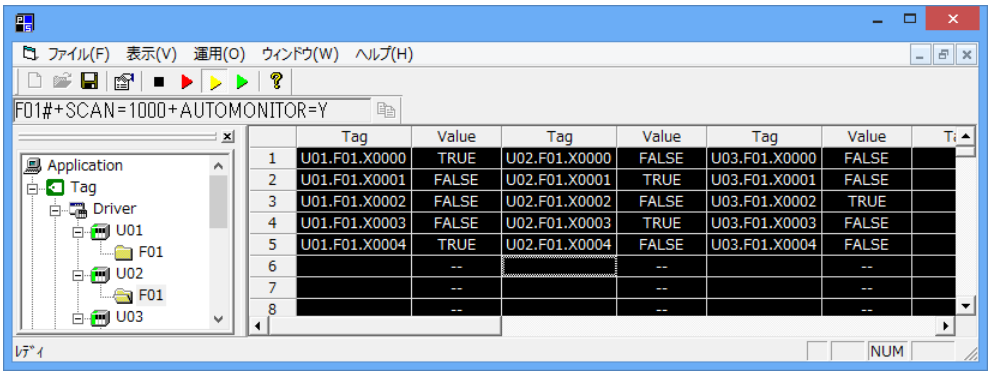


タグリストからのタグ値の変更は、書き込みダイアログによって行います。書き込みダイアログは、値を編集したいタグをタグリストで選択した状態で F5 キーを押すことによって表示します。

2－3　タグモニタ

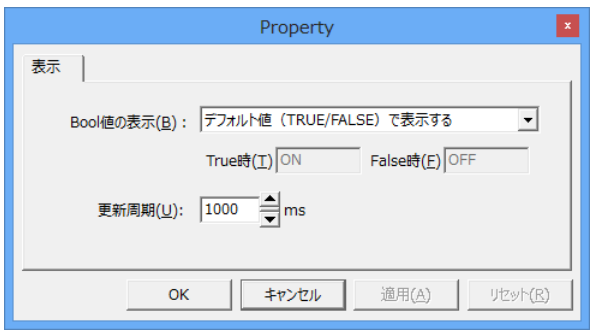
解説

タグモニタは、タグ値のモニタリング及び書き込みを行うことができるグリッド形式のビューです。タグ値の編集や確認など、デバック時に利用すると便利です。タグ列のセルにタグ名が入力されるとモニタリングが開始されます。また、値列のセルからタグ値を編集する事によって、（PLC と接続されたタグの場合）通信によって PLC デバイスに値が書き込まれます。



尚、タグモニタにモニタリング対象のタグ名を入力する際には、タグリストでタグを選択した状態でタグモニタ上に直接ドラックアンドドロップする事で簡単に登録することができます。複数個のタグを同時に選択して一括で登録したい場合などに便利です。

プロパティ



ブール値の表示方法を指定します。デフォルトでは TRUE/FALSE 表示です。また、画面の更新周期を設定します。



値の読み書きはタグリストでも行えますが、タグリストでは U01!Alive などのシステムプロパティのテストはできません。システムプロパティの値をビューから編集したい場合には、タグモニタビューから行う必要があります。

「ビューマニュアル」Copyright © 2010 Roboticsware, Inc. All rights reserved.
2010 年 6 月 1 日 発行　株式会社ロボティクスウェア
〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町 1-11-1　TEL:048-782-9861 FAX:048-782-9862

■本書は著作権上の保護を受けています。本書の一部または全部について、株式会社ロボティクスウェアの
文章での許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で複写・複製することは禁じられています。
■記載されている会社名、製品名、ブランド名は、対応する法人または個人の（登録）商標です。
■このソフトウェアの仕様及び本書に記載されている事項は、将来予告無しに変更することがあります。